

第2次三田市スポーツ推進基本計画 進捗管理シート(H30～R4年度)

具体的な施策	具体的な施策の内容	担当課	取り組み実績(R4年度実績) (具体的な取り組み内容)	H30～R4年度までの現状評価及び課題	進捗評価	総評	今後の取り組み課題など		
【基本方針1】 三田らしいスポーツの推進									
1. 三田の特性・魅力を生かしたスポーツの推進 強化									
1	三田のまちを巡るウォーキングの推進	① 市内の豊かな自然や文化に触れながら、誰もが気軽に取り組める運動として「ノルディック・ウォーキング」をはじめとするウォーキングを推奨し、市内10か所のウォーキングコースを活用した市民の健康づくりを図る。	文化スポーツ課	【文化スポーツ課】 ①② ・R4.4.3春のイベント（さくらさくノルディックウォーキング体験会） 武庫川ウォーキングコースを活用して実施。参加者80人。 ・10/22県立有馬富士公園特設コースにて実施。健脚コースとファミリーコースを設定し実施。健脚コース⇒参加者83人 ファミリーコース⇒参加者78人 ・ワールドマスターズゲームズの本番大会が、新型コロナウイルス感染症の影響により再延期となり、2027年に開催が決定。 ・WMGの普及啓発にあわせノルディック・ウォーキングの普及推進も図るため、歩き方講座やウォーキングコースの紹介動画を作成。	【文化スポーツ課】 ①②とも、ノルディック・ウォーキングの普及推進活用により概ね計画どおり実施できた。引き続き、イベントをはじめ体を動かすきっかけづくりとしても推進を図っていく。	①	3	3	【文化スポーツ課】 ①② WMGの本番大会は、2027年開催となったが引き続き、春と秋のイベント等にあわせて、ウォーキングコースを活用したノルディック・ウォーキングの体験会を図るなど、市民への普及推進、健康づくりを図っていく。 R5.4.1春のイベント（さんださくら物語ノルディック・ウォーキングフェスタ）を実施。（148名参加） R5.9.30 ワールドマスターズゲームズコース（有馬富士）を用いてノルディック・ウォーキングフェスタを開催予定。
	② 三田の特性・魅力を生かしたスポーツイベントとしてノルディック・ウォーキングイベントを継続して実施するとともに、シティセールの観点から普及に努める。	文化スポーツ課	【文化スポーツ課】 ① 県立有馬富士公園や野外活動センターなどで三田の四季折々の豊かな自然の中、キャンプを楽しみ、自然に包まれる時間を過ごすことが出来る施設を整えている。 ② 【文化スポーツ課】 兵庫県実施の北摂里山サイクルプロジェクトとの連携を考えていたが、新型コロナウイルス感染症の影響により進捗できていない。 【まちのブランド観光課】 兵庫県作成の「ひょうごサイクリングモデルルート」の配布を窓口等で実施。	【文化スポーツ課】 ノルディック・ウォーキングの普及推進活用により概ね計画どおり実施できた。引き続き、スポーツツーリズムの展開などの推進を図っていく。 ② 【文化スポーツ課】 兵庫県との連携が行えず、実施できなかった。今後は、北摂里山サイクルプロジェクトとの連携を検討し、北部山地や有馬富士公園、千丈寺湖、武庫川などを活用したサイクリングコースの検討を行っていきたい。 【まちのブランド観光課】 兵庫県作成の「ひょうごサイクリングモデルルート」の配布を行った。	②	3			
2	三田の豊かな自然環境を生かしたスポーツの推進	① ジョギングやサイクリング、登山、ハイキング、キャンプなど、三田の豊かな自然とふれあいながら楽しめるアウトドアスポーツの推進を図る。	文化スポーツ課	【文化スポーツ課】 ① 県立有馬富士公園や野外活動センターなどで三田の四季折々の豊かな自然の中、キャンプを楽しみ、自然に包まれる時間を過ごすことが出来る施設を整えている。 ② 【文化スポーツ課】 兵庫県実施の北摂里山サイクルプロジェクトとの連携を考えていたが、新型コロナウイルス感染症の影響により進捗できていない。 【まちのブランド観光課】 兵庫県作成の「ひょうごサイクリングモデルルート」の配布を窓口等で実施。	【文化スポーツ課】 ノルディック・ウォーキングの普及推進活用により概ね計画どおり実施できた。引き続き、スポーツツーリズムの展開などの推進を図っていく。 ② 【文化スポーツ課】 兵庫県との連携が行えず、実施できなかった。今後は、北摂里山サイクルプロジェクトとの連携を検討し、北部山地や有馬富士公園、千丈寺湖、武庫川などを活用したサイクリングコースの検討を行っていきたい。 【まちのブランド観光課】 兵庫県作成の「ひょうごサイクリングモデルルート」の配布を行った。	①	3	2.5	【文化スポーツ課】 ① 三田市の豊かな自然環境や文化などの魅力資源を生かしたスポーツ推進を図るとともに、これらを生かしたスポーツツーリズムの展開など、魅力発信につなげる。 ・ノルディック・ウォーキングの普及促進を図り、自然環境の良さを再認識機会ととらえ、スポーツツーリズムの推進を図る。 ② 【文化スポーツ課】 北摂里山サイクルプロジェクトとの連携を検討し、北部山地や有馬富士公園、千丈寺湖、武庫川などを活用したサイクリングコースの検討を行う。 【まちのブランド観光課】 マップの配布など継続的に支援を行う。
	② 北部の山地や有馬富士公園、千丈寺湖、武庫川などを活用したサイクリングコースの検討を行う。	文化スポーツ課 まちのブランド観光課	【文化スポーツ課】 ① 三田国際マスターズマラソンは、新型コロナウイルス感染症対策講じたなか3年ぶりに開催。ハーフ2,732名、ファンラン369名の参加申込があった。 ・感染症の関係もあり、大会会場を郷の音ホールに移し、にぎわいの創出など3年ぶりの大会を盛り上げた。 ・さんだノルディック・ウォーキングフェスタ2022大会（WMG2021関西開催記念事業）を実施。参加者数 161名（有馬富士健脚コース（約4.7km）83名・ファミリーコース（約2.3km）78名） 【まちのブランド観光課】 ・「さんだ桜まつり2022」の一環として、観光ガイドとともに歴史・桜スポットを歩く「さくらと歴史をめぐるツアー」などの企画を実施。 ・「ひょうご北摂里山ライド2022」の開催において、エイドステーションの運営等を通じて本誌の魅力発信を行った。	【文化スポーツ課】 感染症の影響があり実走大会は2年間中止となったが、令和3年度は、オンラインマラソンとして代替実施したほか啓発動画の作成など推進を図った。また、ノルディック・ウォーキングは、春と秋といった好季節にイベントを実施するなど普及推進を図り、両大会とも概ね計画どおり実施できた。引き続き、それぞれの大会を通じて魅力発信を図っていく。 【まちのブランド観光課】 ・武庫川沿いに連なる桜並木をめでて歩く「三田さくら回廊ウォーク」は、郷の音ホールを拠点とした新たな賑わいイベント「さんだ桜まつり」にリニューアルし、その一環として実施されるウォーキング企画等を通じて観光誘客促進・魅力発信を図った。 ・サイクルツーリズムの推進を通じて、地域活性化につなげることを目的とした「ひょうご北摂里山ライド2022」の開催に実行委員として参画した。	②	2			
3	地域の魅力資源を生かしたスポーツツーリズムの展開	① 「三田国際マスターズマラソン」や「三田さくら回廊ウォーク※」、「ノルディック・ウォーキングフェスタ※」等を中心に、三田の豊かな自然や歴史資源などを活用したスポーツツーリズムを展開し、スポーツによる交流人口の拡大、本市の魅力発信につなげる。	文化スポーツ課 まちのブランド観光課	【文化スポーツ課】 ① 三田国際マスターズマラソンは、新型コロナウイルス感染症対策講じたなか3年ぶりに開催。ハーフ2,732名、ファンラン369名の参加申込があった。 ・感染症の関係もあり、大会会場を郷の音ホールに移し、にぎわいの創出など3年ぶりの大会を盛り上げた。 ・さんだノルディック・ウォーキングフェスタ2022大会（WMG2021関西開催記念事業）を実施。参加者数 161名（有馬富士健脚コース（約4.7km）83名・ファミリーコース（約2.3km）78名） 【まちのブランド観光課】 ・「さんだ桜まつり2022」の一環として、観光ガイドとともに歴史・桜スポットを歩く「さくらと歴史をめぐるツアー」などの企画を実施。 ・「ひょうご北摂里山ライド2022」の開催において、エイドステーションの運営等を通じて本誌の魅力発信を行った。	【文化スポーツ課】 感染症の影響があり実走大会は2年間中止となったが、令和3年度は、オンラインマラソンとして代替実施したほか啓発動画の作成など推進を図った。また、ノルディック・ウォーキングは、春と秋といった好季節にイベントを実施するなど普及推進を図り、両大会とも概ね計画どおり実施できた。引き続き、それぞれの大会を通じて魅力発信を図っていく。 【まちのブランド観光課】 ・武庫川沿いに連なる桜並木をめでて歩く「三田さくら回廊ウォーク」は、郷の音ホールを拠点とした新たな賑わいイベント「さんだ桜まつり」にリニューアルし、その一環として実施されるウォーキング企画等を通じて観光誘客促進・魅力発信を図った。 ・サイクルツーリズムの推進を通じて、地域活性化につなげることを目的とした「ひょうご北摂里山ライド2022」の開催に実行委員として参画した。	①	3	3	【文化スポーツ課】 ・季節ごとのイベント等と連携を図り、ウォーキングコースを活用したノルディック・ウォーキングの体験会などを通じて、市民への普及推進、健康づくりを図っていく。 R5.4.1春のイベントとして、さんださくら物語ノルディック・ウォーキングフェスタを実施（148名参加） R5.9.30 ワールドマスターズゲームズコース（有馬富士）を用いてノルディック・ウォーキングフェスタを開催予定。 ・マスターズマラソンについても、令和5年度の開催に向け、準備を進める。 【まちのブランド観光課】 ・「さんだ桜まつり2023」を実施。レンタサイクルの運用促進に向けたモデルコースの活用等を通じて、観光誘客促進・桜をはじめとした春の魅力発信を図る。 ・「ひょうご北摂里山ライド2023」の開催。
4	総合マイレージを活用したスポーツの推進 新規	① スポーツイベントやスポーツ教室をはじめ、健康診断や健康講座等、健康づくりにつながる取組への参加者に市の総合マイレージポイントを蓄積してもらい、活用できる仕組みとすることで、健康づくりへの意欲を高める。	文化スポーツ課 健康増進課	【文化スポーツ課】 新型コロナウイルス感染症対策を講じて各種イベントの実施や各種スポーツ教室など実施。（ノルディック・ウォーキングフェスタやマスターズマラソンなどスポーツ教室（9教室）） 【健康増進課】 令和2年度は県モデル事業に参加し、スマートウォッチ・健康アプリを活用した取組を実施。令和3年度は、同モデル事業を市独自で継続実施する想定であったが、令和3年度よりスマートシティの動きの中で今後の事業を再検討している。	【文化スポーツ課】 感染症の影響があったものの、各種スポーツ教室などを実施、健康づくりにつながる取組を行えた。引き続き、感染症に注意を払いながら、イベントや教室の実施など健康づくりの推進を図る。 【健康増進課】 総合マイレージ事業としての展開は令和元年度で一旦終了。令和2年度以降は健康アプリの導入の検討期間であったが、令和3年度よりスマートシティの動きの中で今後の事業展開を検討中。	①	3	3	【文化スポーツ課】 スポーツ事業者とも連携し、健康づくりやフレイル予防への意欲を高められるよう事業推進も図っていききたい。 【健康増進課】 令和3年度よりスマートシティの動きもあり、今後の市民の健康づくりについては、国が進めるPHR（パーソナルヘルスレコード）の普及が見込まれることから、専用アプリなどのデジタル等を活用した市民各々の健康状態に応じた効果的なものを検討していく。

具体的な施策	具体的な施策の内容	担当課	取り組み実績(R4年度実績) (具体的な取り組み内容)	H30～R4年度までの現状評価及び課題	進捗評価	総評	今後の取り組み課題など
--------	-----------	-----	--------------------------------	---------------------	------	----	-------------

2. 競技スポーツの推進

5	レベルの高い競技会開催支援 新規	① アスリートとの交流の機会づくりをはじめ、レベルの高い競技会や大会などの開催を積極的に支援する。	文化スポーツ課	【文化スポーツ課】 SANDAドリームサッカーを開催。三田出身のプロサッカー選手等によるサッカー教室などを実施し、交流を行った。	【文化スポーツ課】 感染症の影響もあり、交流などの機会づくりを行うことが、あまりできなかった。今後は、感染症に注意しながら交流の機会づくりを図っていきたい。	①	2	2	【文化スポーツ課】 イベントや交流等の実施において支援を継続して行う。
6	アスリートの育成・支援 新規	① スポーツ選手のレベルアップを図るため、市内の各種スポーツ団体が連携して選手強化体制を充実させるなど、アスリートの育成・強化に取り組む。	文化スポーツ課	【文化スポーツ課】 ①② 初心者向けスポーツ教室の実施(9教室)。スポーツ協会加盟種目協会に事業補助を行い、育成の強化や選手の発掘等を実施。	【文化スポーツ課】 ①スポーツ教室をはじめ、各種目協会による選手の育成や強化に取り組んだ。	①	3	2.5	【文化スポーツ課】 ①② 初心者向けの教室やアスリートの育成強化、ジュニア選手の発掘など育成ができるよう支援を行う。
		② スポーツ少年団や市内の各学校、スポーツクラブ21などと連携し、運動能力の高い子どもを発掘し、市内の各種スポーツ団体の連携と協働のもと育成プログラムに取り組むなど、ジュニア選手の発掘・育成を目指す。	文化スポーツ課	②各団体間の連携ができず各団体のみの取り組みとなった。 ①②とも引き続き、各団体間の連携強化を図り、選手育成に取り組む。	②	2			
7	競技スポーツの推進	① 各スポーツ関連団体との連携を図るとともに「兵庫ブルーサンダーズ」や「西宮ストークス」をはじめとする地域で活動するスポーツクラブ等の活動の支援など、競技レベルの維持・向上を図る。	文化スポーツ課	【文化スポーツ課】 ① プロスポーツ競技大会の会場確保など支援等を行った。また、パートナー協定を締結している兵庫レイバーズ(兵庫ブルーサンダーズ(社団名))と、定期的に双方の活動に対する意見交換など実施した。	【文化スポーツ課】 ①② 兵庫レイバーズ(兵庫ブルーサンダーズ(社団名))とのパートナー協定のもとスポーツ交流など推進を図った。引き続き、交流や教室など実施し推進を図るとともに、地域との連携や協働も進め、活動が活かされる循環を図っていく。	①	3	3	【文化スポーツ課】 ①② パートナー協定のもとスポーツ交流などの推進を図り、必要に応じて、スポーツアドバイザーに指導助言を求めより効果的に実施していく。
		② スポーツに関わる人材と地域における連携・協働を進め、アスリートや競技スポーツに関わる地域の人材による講習会、スポーツ教室などの開催など、アスリートがもつスポーツ技術や地域の人材などが、地域のスポーツ活動に活かされる好循環の創出を図る。	文化スポーツ課	② スポーツ推進審議会の委員に、市のスポーツアドバイザー(元プロサッカー選手)を委嘱を行っている。	②	3			

3. スポーツ観戦の機会づくり **新規**

8	スポーツ観戦の推進	① 地域で活動する「兵庫ブルーサンダーズ」や「西宮ストークス」をはじめとするスポーツクラブとの交流を通じて、スポーツ観戦の機会づくり、市民とのふれあいの機会の創出を図る。	文化スポーツ課	【文化スポーツ課】 パートナー協定を締結している、兵庫ブルーサンダーズ(社団名)(兵庫レイバーズ)が、市民との交流機会など地域に根ざした球団として、試合への招待や教室など実施。	【文化スポーツ課】 兵庫ブルーサンダーズ(社団名)(兵庫レイバーズ)との協定に基づき、定期的な情報交換を行うなど双方連携し取り組みを行った。引き続き、双方の連携を密にし、交流などの機会創出を図っていく。	①	3	3	【文化スポーツ課】 協定に基づき、双方連携し取り組みを行う。
9	アスリートとの交流の機会づくり	① 市民ニーズにあわせてアスリートなどによる講習会やスポーツ教室を開催する。	文化スポーツ課	【文化スポーツ課】 ① SANDAドリームサッカーを開催。三田出身のプロサッカー選手等によるサッカー教室などを実施し、交流を行った。	【文化スポーツ課】 ①② R4年度は、プロサッカー選手による教室が実施できたが、この3年間は、新型コロナウイルス感染症の影響により、検討していた講習会や教室などが実施できなかった。	①	2	1.5	【文化スポーツ課】 ①② 夢プロジェクト事業として、現役や元プロ選手等を講師に引き教室の開催や大学連携等を活用した教室などを引き続き実施していく。
		② スポーツチーム等の合宿などの招致を図り、アスリートとの交流や活動支援を行う。	文化スポーツ課	② 未実施	②	1			

4. スポーツ推進に関わる人材の育成・活用 **強化**

10	指導者の育成・活用	① スポーツ推進委員会やスポーツクラブ21の活動の中で、団体内における指導者の育成などの充実を検討するとともに、指導者研修会を活用し、多様なスポーツニーズに対応できるよう、指導者の技術向上や自己啓発を図る。	文化スポーツ課	【文化スポーツ課】 ① スポーツ推進委員会では、阪神間、兵庫県組織との連携の中で各種講習会やノルディック・ウォーキングの講習など技術向上などに努めた。	【文化スポーツ課】 ①阪神間、兵庫県組織実施の研修会などに参加し技術向上等を図った。引き続き、指導者としての自己啓発を図りスポーツニーズに対応できるよう推進を図る。	①	3	2	【文化スポーツ課】 ① 今後も機会あるごとに研修会などに参加し技術向上等を図る。 ② 第3次スポーツ推進基本計画における新たなスポーツ振興組織の検討を行い、連携強化を図る。
		② 「スポーツ指導者連絡会」の設置を含め、市内外のスポーツ人材の登録・派遣の仕組みづくりを検討する。	文化スポーツ課	②指導者連絡会は具体的な開催や取組の実績なし。	②具体的な取り組みなど至っていない。他の事例なども参考に具体的な方策など検討を行っていく。	②	1		

5. 誰もがアクセスしやすいスポーツ情報の発信 **強化**

11	多様な媒体を活用したスポーツ情報の発信	① 市の広報紙やホームページ、SNS、マスメディア、各スポーツクラブ21による広報誌など多様な情報媒体を活用し、スポーツ大会や教室など、スポーツ団体等の活動に関する情報を積極的に発信し、より多くの市民がスポーツを「する」「みる」「ささえる」きっかけづくりにつなげる。	文化スポーツ課	【文化スポーツ課】 市の広報誌やホームページにスポーツ大会や教室等の情報を積極的に発信した。	【文化スポーツ課】 スポーツ大会や教室などの情報を随時、提供を行った。引き続き、情報を発信するとともに発信の手法などを改良検討していく。	①	3	3	【文化スポーツ課】 市広報紙への掲載やホームページの活用、各新聞社などのメディアへ積極的に情報提供していく。また、どのような手段で情報収集を行うか収集と広報の方法を研究していく。
12	庁内の連携強化によるわかりやすい情報の発信	① 福祉、健康、子育て、地域振興、観光、スポーツ担当など、関係する部局との連携を強化し、スポーツに関する情報の共有により、誰もが、いつでも、どこでも、気軽に「する」「みる」「ささえる」スポーツを実現できる、わかりやすい情報発信を目指す。	文化スポーツ課	【文化スポーツ課】 春のさくらまつりとあわせて、ノルディック・ウォーキングを行うなど連携を図った。	【文化スポーツ課】 ノルディック・ウォーキングを中心に、他の事業やイベントなどと連携が図れた。今後も引き続き、連携を図りスポーツの情報発信を行いながら普及推進を行っていく。	①	3	3	【文化スポーツ課】 ノルディック・ウォーキングとマスターズマラソンを核に、他のイベントとの連携を図っていく。
13	スポーツイベントや交流会を通じた活動内容の発信	① 市内のスポーツイベントや交流会をはじめ、様々な機会を通じて、地域でのスポーツ活動の内容や、地域で活躍する人材の取り組みなど、活動内容を広く発信し、共有する。	文化スポーツ課	【文化スポーツ課】 市ホームページや市政記者クラブに積極的にスポーツに関するイベントや、取組進捗等の情報を提供した。	【文化スポーツ課】 スポーツに関する情報をホームページなどに発信を行った。引き続き、情報発信を行うとともに効果的な情報発信の方策を検討していく。	①	3	3	【文化スポーツ課】 取組以外にも、効果的な情報発信の方策を検討する。

具体的な施策	具体的な施策の内容	担当課	取り組み実績(R4年度実績) (具体的な取り組み内容)	H30～R4年度までの現状評価及び課題	進捗評価	総評	今後の取り組み課題など
--------	-----------	-----	--------------------------------	---------------------	------	----	-------------

【基本方針2】 スポーツで「子どもに夢を！」

1. 「健やかな体」の育成（乳幼児期からの遊び・運動の推進）								
14	親子でスポーツ（遊び・運動）に親しむ機会づくり	① マタニティヨガやベビーマッサージをはじめ、妊娠・出産期、乳児期から親子のふれあい遊びや一緒に体を動かす機会の提供や情報を発信する。	すくすく子育て課	① 【すくすく子育て課】 ・市内4か所の子育て交流ひろば(多世代交流館子育て交流ひろば、駒ヶ谷運動公園子育て交流ひろば、駅前子育て交流ひろば、地域子育て支援センターみな・とっちひろば)において、運動遊び・リトミック・ベビーマッサージなどの機会を提供するとともに、その情報を「SUNだっこアプリ」などで配信し周知した。 ・ひろば内の遊びのスペースに平均台や飛び石などの運動遊具を設置し、日常的に体を動かして遊べる環境を整えている。 ・多世代交流館子育て交流ひろばでは、各年齢のあそびのひろばを開催し、リトミックや親子体操の内容を取り入れ実施した。 ・多世代交流館子育て交流ひろばでは、毎週水曜日に屋外型ひろば「おさんぽふらっと」を実施して屋外で親子で遊ぶ機会を提供した。	① 子育て中の保護者同士の交流や子どもたちが体を動かすことへ親しみを持てるようなプログラムを実施した。屋外での活動は、参加者が開放感を味わい笑顔で過ごされていた。定期的の実施することでリピーターも多く、参加しやすい事業になった。	①	3	① 【すくすく子育て課】 子育て中の保護者同士の交流や子どもたちが体を動かすことへ親しみを持てるようなプログラムを実施したい。
		② 福祉、子育て、健康、スポーツ分野が連携して、幼児検診や子育てイベントなどの機会を生かし、親子が気軽にスポーツ（遊びや運動）に親しみ、保護者同士も交流ができる機会を積極的につくる。	文化スポーツ課 すくすく子育て課	② 【文化スポーツ課】 新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、さんだファミリー・スポーツ・カーニバル&市民チャレンジデーを実施し、子どもから高齢者、障害のある方や家族、友だち同志でも参加できるイベントを実施し、交流の場を提供した。 【すくすく子育て課】 多世代交流館の登録子育てグループは、館の支援（運動遊具の貸出し、講師派遣等）のもと、それぞれの地域でリトミックや親子体操などを実施した。	② 新型コロナウイルス感染症の影響によりR2・R3年度は、「さんだファミリー・スポーツ・カーニバル&市民チャレンジデー」が実施できなかったが、R4年度に実施したように感染症に注意を行いながら、子どもたちに遊びや運動の機会を提供できるよう、工夫を図り実施していく。 【すくすく子育て課】 コロナ禍で事業の実施を見送ることもあったが、多世代交流館の支援・調整を丁寧に行い、講師派遣し実施した。子育て中の親子が楽しめるよう工夫していきたい。	②	3	② 【文化スポーツ課】 感染症に注意を払いながら「さんだファミリー・スポーツ・カーニバル&市民チャレンジデー」を実施する。また、子どもたちに遊びや運動の機会を提供できるよう感染症対策を講じた工夫を図る。 【すくすく子育て課】 子育て中の保護者同士の交流や子どもたちが体を動かすことへ親しみを持てるようなプログラムを実施したい。
		③ 親子が楽しく体を動かすことの大切さを啓発するとともに、市立幼稚園における「わくわく体操※」の推進など、家庭や地域、幼稚園や保育園などでも気軽に取り組めるスポーツ（遊びや運動）を普及させる。	文化スポーツ課 教育研修所 保育振興課 幼児教育振興課	③ 【文化スポーツ課】 ②と同様。 【教育研修所】 他課との連携支援が主であり、直接的な事業はない。 【保育振興課】 三田保育所において「わくわく体操」に取り組んだ。外部講師による体育指導も実施した。 【幼児教育振興課】 ・継続して「わくわく体操」に取り組み、多様な体の動きを楽しむことができた。また、子どもの姿や活動の様子を保護者に発信した。	③ 【文化スポーツ課】 ②と同様 【教育研修所】 他課との連携支援が主であり、直接的な事業はない。 【保育振興課】 わくわく体操や園庭での遊具などを使った外遊びを実施。今後も感染予防をしながら体育遊びを実施していく。 【幼児教育振興課】 継続して取り組むことで、多様な体の動きを獲得するとともに体の動きを調整する力が育まれた。取り組みの意図を保護者に伝えることで関心が高まっている。	③	3	③ 【文化スポーツ課】 ②と同様 【教育研修所】 他課との連携支援が主であり、直接的な事業はない。 【保育振興課】 わくわく体操や園庭での遊具などを使った外遊び、園外保育（散歩）などを通じて乳幼児期の体力づくりに取り組む。 【幼児教育振興課】 継続して取り組む。
15	幼児期の身体活動の促進	① 「幼児期運動指針ガイドブック※」（文部科学省）など、幼児が楽しくスポーツ（遊びや運動）ができる具体的プログラムを紹介し、家庭や地域、幼稚園や保育園などにおけるスポーツ（遊びや運動）の機会の提供を促進する。	保育振興課 幼児教育振興課	【保育振興課】 発達に必要な遊びなどの展開をした。 【幼児教育振興課】 発達段階に応じた運動遊びをととして、楽しみながら多様な動きの獲得や体力、運動能力の基礎を培うことができた。	【保育振興課】 乳幼児期の発達段階に応じた体育遊びに取り組んだ。 【幼児教育振興】 「やってみよう」という意欲が湧くような環境構成に努め、主体的に体を動かすなかで、体力、運動能力の基礎を培うことができた。	①	3	① 【保育振興課】 乳幼児期の発達段階に応じた体育遊びなどを通じて、体力向上に努める。 【幼児教育振興】 継続して取り組む。

具体的な施策	具体的な施策の内容	担当課	取り組み実績(R4年度実績) (具体的な取り組み内容)	H30～R4年度までの現状評価及び課題	進捗評価	総評	今後の取り組み課題など
--------	-----------	-----	--------------------------------	---------------------	------	----	-------------

2. 子どもの体力向上の推進

16	学校と地域の連携強化	① 学校やスポーツ関連団体が互いに連携を図り、子どもの体力向上、健康・体力づくりに向けて、学校体育や地域行事等の中で積極的にスポーツに親しむ習慣の定着を図る。	文化スポーツ課 教育研修所	① 【文化スポーツ課】 スポーツクラブ21をはじめ、スポーツ協会加盟の種目協会の各種教室や大会などを通じて、子どもの心身の育成や体力向上に努めた。 【教育研修所】 スポーツクラブ21をはじめ、スポーツ協会加盟の種目協会の各種教室や大会などを通じて、子どもの心身の育成や体力向上に努めたが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり取り組みが十分でないものもある。	① 【文化スポーツ課】 スポーツクラブ21や各種協会の教室の実施など子どもの心身育成やスポーツに親しむ機会づくりを図られた。引き続き、関連団体が連携を図り、スポーツを通じて子どもの心身発達やスポーツを行う習慣の定着を図っていく。 【教育研修所】 スポーツクラブ21をはじめ、スポーツ協会加盟の種目協会の各種教室や大会などを通じて、子どもの心身の育成や体力向上に努めたが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり中止されたものもある。	①	3	3	① 【文化スポーツ課】 関連団体との連携強化をし、スポーツに親しむ機会の習慣化を進める。 【教育研修所】 スポーツクラブ21をはじめ、スポーツ協会加盟の種目協会の各種教室や大会などを通じて、子どもの心身の育成や体力向上に努める。
		② 子どもの体幹を育てる「キッピー体操※」の普及・活用など、日常生活における体力向上の取り組みを推進する。	文化スポーツ課 教育研修所	② 【文化スポーツ課】 ①同上 【教育研修所】 体幹を育てることを目的に、音楽に合わせて座位で行える体操として「キッピー体操」をGIGAスクール構想の1人1台端末を活用し、市内児童生徒および教職員の端末にアイコンとして置き、いつでも活用できるようにしている。	② 【文化スポーツ課】 ①同上 【教育研修所】 「キッピー体操」を朝の会等の時間のメニューにし、継続的に取り組んでいる学校、運動会の体操演技としての活用した学校がある。	②	3		② 【文化スポーツ課】 ①同上 【教育研修所】 「キッピー体操」を朝の会等の時間を活用し、体幹を鍛えることによる運動の基礎能力向上をめざし活用を推進する。
17	学校体育の充実	① 「さんだっ子元気アップサポーター」派遣事業を進めるとともに、その内容や成果を広く公表する。	教育研修所	① 【教育研修所】 小中学校においては、「さんだっ子元気アッププログラム」推進校を設置し、遊びの要素を取り入れた運動やラダートレーニング等により、体力向上や運動への意識づけを行うため計画したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための対策等により実施できなかった。 ※さんだっ子元気アッププログラム→体力、運動能力、運動習慣等の調査結果により課題を改善するためのプログラムとして、サポーターの派遣など実施。	① 【教育研修所】 「さんだっ子元気アッププログラム」事業は、推進校において計画していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための対策等により実施できなかった。 ② 新型コロナウイルスの感染症対策を徹底する中で、新学習指導要領の主旨に沿った授業改善を進めた。	①	1	2	① 【教育研修所】 「さんだっ子元気アッププログラム」推進校を設置し、遊びの要素を取り入れた運動やラダートレーニング等により、体力向上や運動への意識づけ等について推進する。 ② 新型コロナウイルスの感染症対策を徹底する中で、新学習指導要領の主旨に沿った授業改善を進める。令和2・3年度は新型コロナウイルス感染症の対応のため実施できていない水泳指導について、感染症対策を徹底することで、適切に実施できるようにする。
		② 小・中学校における体育授業の改善、充実を図り、一人ひとりの体力などに応じた指導により体力向上・運動習慣の定着を図る。	教育研修所	② 新型コロナウイルスの感染症対策を徹底する中で、新学習指導要領の主旨に沿った授業改善を進めた。	②	3	② 新型コロナウイルスの感染症対策を徹底する中で、新学習指導要領の主旨に沿った授業改善を進めた。		
18	指導者の育成・活用 強化	① スポーツクラブ21やスポーツ協会、スポーツ推進委員をはじめとするスポーツ関係団体と連携しながら、研修会などを通して指導者の養成を進めるとともに、地域の人材や民間の指導者等を積極的に活用できる仕組みを検討する。	文化スポーツ課	【文化スポーツ課】 新型コロナウイルス感染症の影響もあり多人数を集めての研修会など実施が困難であったため、実施できなかった。	【文化スポーツ課】 新型コロナウイルス感染症の影響もあり、スポーツ関係団体などの研修会が実施できなかった。今後は、スポーツ指導者等の養成育成を図り、マンパワーを共有できるよう、その活用方法など検討を行っていく。	①	1	1	【文化スポーツ課】 スポーツ指導者等の養成育成を図り、マンパワーを共有できるよう、第3次スポーツ推進基本計画に基づき活用を行っていく。

3. 地域でのスポーツ活動の支援

19	子どもを対象としたスポーツ機会の充実	① 市内体育施設においてテニス、剣道、柔道やバレーボール等のスポーツ教室を開催する。	文化スポーツ課	【文化スポーツ課】 ①② スポーツ協会において9種目の市民スポーツ教室を実施。ニュースポーツを中心とした12種類の派遣型スポーツスクールを用意し、地域サークル団体やスポーツクラブ21、老人会など様々な団体での利用が戻ってきている。 市民スポーツ教室は、のべ1,474人、派遣型スポーツスクールは、373人の利用があった。	【文化スポーツ課】 ①②③ スポーツ教室の実施や派遣型スポーツスクールなどスポーツに親しむ機会を提供し体力の向上などに努めた。今後は、教室の実施やスポーツに親しむ機会の充実を図るなど身近にスポーツができる環境づくりを推進する。また、中学校の部活動支援など指導者育成を図り、競技力向上も図っていく。	①	3	3	【文化スポーツ課】 ①②③ 身近なところで子どもを対象としたスポーツに親しむ機会の充実を図っていく。
		② 子どもの体力向上、スポーツに親しむ機会の充実を図るため、初心者向けの市民スポーツ教室や派遣型スポーツスクールなど各種スポーツ教室を充実し、参加者の増加につなげる。	文化スポーツ課	③ 全国大会等で優秀な成績を修めた選手を讃え、市長表敬(2団体4名)、報告会(2団体10名)を実施。この他、全国大会等出場選手に市長メッセージを送付した。(2団体24名)	②	3			
		③ スポーツ協会等と連携しながら小学校のクラブ活動や中学校の部活動について複数校での活動支援など活動内容の充実のほか、指導者の育成、地域人材の積極的な活用等を通して競技力の向上を図るとともに、全国大会の出場校などの表彰、PRを積極的に行い、競技者の育成等を目指す。	文化スポーツ課	③ 全国大会等で優秀な成績を修めた選手を讃え、市長表敬(2団体4名)、報告会(2団体10名)を実施。この他、全国大会等出場選手に市長メッセージを送付した。(2団体24名)	③	3			

具体的な施策	具体的な施策の内容	担当課	取り組み実績(R4年度実績) (具体的な取り組み内容)	H30～R4年度までの現状評価及び課題	進捗評価	総評	今後の取り組み課題など
20	① 各小学校区のスポーツクラブ21を中心に、他のスポーツ関連団体とも連携し、初心者の子どもたちも気軽に参加できるスポーツ機会の充実や、スポーツを通じた多世代の交流により健全な心身の育成と仲間づくりを進める。	文化スポーツ課	① 【文化スポーツ課】 スポーツクラブ21の事業を通じて地域内関連団体と連携し、多世代交流を実施。	【文化スポーツ課】 ①②③ 地域のスポーツクラブ21をはじめとするスポーツ関連団体等が連携して、多世代交流事業やイベントの実施などスポーツをする機会の充実が図られた。また、R2年度からは、新型コロナウイルス感染症の影響で交流フェスタは実施できなかったが引き続き、スポーツをする機会の充実を図るとともに子どもから高齢者までの地域住民がふれあえる機会を提供していく。	① 3	2.7	【文化スポーツ課】 ①②③ 地域のスポーツクラブ21をはじめとするスポーツ関連団体等が連携して、多世代交流事業やイベントの実施などスポーツをする機会の充実を図っていく。
	② 地域住民が自らスポーツを通じた子どもたちの健全育成を実践する地域スポーツ関連団体の活動を支援し、子どもたちの心身の健康を図る機会を充実する。	文化スポーツ課	② 【文化スポーツ課】 スポーツクラブ21が地域と連携を図り、スポーツをする機会の充実を図っている。				
	③ 「スポーツクラブ21交流フェスタ」の開催など、クラブ間の交流を促進し、子どもから高齢者まで地域住民同士のふれあいの場を提供する。	文化スポーツ課	③ 【文化スポーツ課】 令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、スポーツクラブ21交流フェスタは中止。全県スポーツサミットは、開催され県内のクラブ間での意見交換など行った。				
21	① レベルの高い競技等を間近に見ることで、子どもたちに夢や感動を与えることができるよう、スポーツ大会の招致など、「みる」スポーツを体験できる機会を充実する。	文化スポーツ課	【文化スポーツ課】 ① 兵庫レイバーズの試合などレベルの高い競技の観覧、機会創出を図った。	【文化スポーツ課】 ①② 新型コロナウイルス感染症の影響で夢プロジェクト事業などが実施できないこともあったが、兵庫レイバーズの試合観戦や教室の実施な、体験できる機会の充実を図った。引き続き、スポーツ夢プロジェクト事業を推進し、現役・元プロ選手等を講師に招き、実技などの教室を実施するほか、高い競技レベルや技術など見ることができ、教室を行うことで、する・みるスポーツの機会充実を図っていく。	① 3	2.5	【文化スポーツ課】 ①② スポーツ夢プロジェクト事業として、現役、元プロ選手等を講師に招き、実技などの教室を実施する。
	② トップレベルで活躍する競技者などを、スポーツアドバイザーとして、学校や地域などに招待し、ふれあう機会やスポーツマンシップを身近に感じる機会を創出する。	文化スポーツ課	② R4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響でスポーツ夢プロジェクト事業の教室などが行えなかった。 ※これまで、陸上の元オリンピック出場選手や元プロサッカー選手により、自身の体験談を踏まえ、生徒たちに夢を持つ大切さなど講義を実施した。				

【基本方針3】 スポーツで「高齢者に生きがいを！」

1. 高齢者のスポーツに親しむ機会づくり								
22	高齢者の健康づくりの支援（健康的な生活習慣の実践）	文化スポーツ課 健康増進課	① 【文化スポーツ課】 「市民スポーツ教室」は、通年で実施。また、派遣型スポーツスクールを実施し、運動のきっかけづくりを提供した。高齢者向けシニアスポーツスクールは2日間実施し、幅広く推進が図られた。また、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、さんだファミリー・スポーツ・カーニバル&さんだ市民チャレンジデーを実施。 (のべ322人参加)	① 【文化スポーツ課】 市民スポーツ教室の実施など、健康づくりへのきっかけづくりとして、運動習慣や高齢者の交流を目的として実施した。また、ノルディック・ウォーキングの普及推進をはじめ気軽に取り組めるスポーツを推進した。引き続き、現在のメニューを活用しながら継続的に教室などを実施していく。	① 3	3	① 【文化スポーツ課】 健康づくりへのきっかけづくりとして、市民スポーツ教室や派遣型スポーツスクールなどを活用し実施していく。 【健康増進課】 感染症対策を講じながら、健康推進員活動等においても住民のニーズに応じ気軽に取り組める事業を検討していく。	
	② 高齢者の介護予防と交流を目的とした「いきいき百歳体操」の地域での継続した取り組みが広がるように啓発・支援を行う。	いきいき高齢者支援課	【健康増進課】 健康推進員活動において、一部の地区では、感染症対策を講じながらニュースポーツ（ノルディックウォーキング、グランドゴルフ、ペタンク）を取り入れた活動を実施した。					② 【いきいき高齢者支援課】 ・「いきいき百歳体操」の取り組みを地域で推進するため、いきいき百歳体操体験会を各地域で行い、新規グループ立ち上げにつなげていく。 ・感染症対策を講じながらリハビリ専門職の派遣と体力測定を推進する。
	③ 市内の自然や文化にふれながら気軽に取り組める運動である「ノルディック・ウォーキング」や「ニュースポーツ」などの普及・啓発を行う。	文化スポーツ課	② 【いきいき高齢者支援課】 ・現在42グループが各地域で体操を実施している。 ・R4年度は再開するグループが増え、各地域包括・高齢者支援センターが講話や情報提供等を行い、定期的に支援を行った。またリハビリテーション専門職の派遣も実施した。 ・各地域でいきいき百歳体操の体験会を実施し、新規グループの立ち上げ支援を行い、5グループの新規立ち上げにつながった。 ・継続的に活動ができるように、各グループ代表者同士の交流会を開催した。					② 【いきいき高齢者支援課】 ・「いきいき百歳体操」の取り組みを地域で推進するため、いきいき百歳体操体験会を各地域で行った。 ・R2・3年度はコロナウイルス感染症の影響でリハビリ専門職の派遣依頼が少なかったが、R4年度増加傾向である。 ・感染症対策を行いながらほぼ活動を再開しているが、今後感染が再拡大し活動を休止した場合も引き続き支援する。
	④ 「ロコモティブシンドローム※（運動器症候群）」の予防・改善に向けた啓発活動などの取り組みを行う。	健康増進課	③ 【文化スポーツ課】 R4.10.22にさんだノルディック・ウォーキングフェスタ2022大会（WMG2021関西開催記念事業）を実施。161人の参加。					③ 【文化スポーツ課】 ・①同上
			④ 【健康増進課】 令和4年度も市政出前講座のテーマとしてロコモティブシンドローム予防を設定。 実施回数 3回 参加者人数 61名	④ 【健康増進課】 市政出前講座やイベントを中心に、ロコモティブシンドロームの予防について啓発を実施した。昨今は新型コロナウイルス感染症の影響により、啓発の機会が減少している。	④ 3		④ 【健康増進課】 市政出前講座やイベントでの啓発に努めるとともに、既存事業も活用し、正しい知識の普及に努める。	

具体的な施策	具体的な施策の内容	担当課	取り組み実績(R4年度実績) (具体的な取り組み内容)	H30～R4年度までの現状評価及び課題	進捗評価	総評	今後の取り組み課題など		
23	「高齢者スポーツスクール」の充実	① 高齢者の体力に応じた「高齢者スポーツスクール」の内容の充実・積極的なPRを行い、幅広く参加者の増加を図る。	文化スポーツ課	【文化スポーツ課】 R5.3.7・3.9に高齢者向けシニアスポーツスクールを実施。両日で、47人の参加であった。	【文化スポーツ課】 新型コロナウイルス感染症の影響もあり、R1年度から実施できなかったが、令和4年度実施同様、感染症に注意を払いながら高齢者の運動充実を図っていききたい。	①	2	2	【文化スポーツ課】 新型コロナウイルス感染症に注意を払いながら、今後も実施していく。
24	高齢者の競技スポーツの機会充実	① マスターズなどの全国大会や選暦野球など、高齢者が参加できる競技性の高いスポーツ交流の機会の創出する。	文化スポーツ課	【文化スポーツ課】 スポーツ教室を中心にスポーツを行う機会を図った。	【文化スポーツ課】 スポーツ教室など高齢者が参加出来る機会を図った。今後も、継続的に教室の実施をはじめ交流や機会の創出を図り、高齢者の競技性を高めたい。	①	3	3	【文化スポーツ課】 スポーツ教室をはじめ、高齢者の運動意欲を高めるとともに交流の場の提供としていく。

2. スポーツを通じた仲間づくり・生きがいづくりの促進 強化

25	スポーツを通じた交流イベント等の開催	① 「さんだ市民チャレンジデー」の開催など、スポーツを通じて、仲間づくりや地域での多世代交流を深める機会を充実する。	文化スポーツ課 健康増進課	【文化スポーツ課】 新型コロナウイルス感染症対策を講じながらのべ322名の参加のもと実施。体力測定やノルディックウォーキング体験・障害者スポーツ（車いすバスケット）の体験など実施。 【健康増進課】 令和4年度実績なし。	【文化スポーツ課】 R2・R3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、中止となったが引き続き、多世代交流をはじめスポーツを通じたきっかけや仲間づくりの場としていききたい。 【健康増進課】 令和2年度～4年度は実績はないが、元年度以前は市民チャレンジデーに健康推進員を派遣し連携支援を行うなど、スポーツを通じ地域での多世代交流を深めた。	①	3	3	【文化スポーツ課】 感染症に注意を払いながら、さんだファミリー・スポーツ・カーニバル&市民チャレンジデーを実施し、世代間交流の機会を図る。 【健康増進課】 感染症対策を講じながら、健康推進員活動等において地域での多世代交流を深める機会に繋げる。
	② 地域の幼稚園や保育園、学校、大学や老人施設等と連携して、子どもたちと高齢者、若者と高齢者が交流しながら体を動かしたり、スポーツに取り組める機会づくりを行う。 新規	文化スポーツ課 健康増進課 健やか育成課 保育振興課 幼児教育振興課	【文化スポーツ課】 さんだノルディック・ウォーキングフェスタ2022大会(WMG2021関西開催記念事業)に、湊川短期大学の学生にスタッフとして参加してもらい交流の機会づくりを図った。 【健康増進課】 令和4年度実績なし。 【健やか育成課】 放課後子ども教室でゴルフ体験教室等を実施し、多世代が交流する機会を図った。 【保育振興課】 年2回、高齢者と交流しながら体を動かす取り組みを行っていたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大予防のため中止。 【幼児教育振興課】 令和4年度実績なし。	【文化スポーツ課】 湊川短期大学をはじめとする大学生の協力支援により交流を図った。引き続き連携を強化し、スポーツに取り組む機会の充実を図っていく。 【健康増進課】 健康推進員活動におけるウォーキング教室や、健康教育にて多様な市民が参加できるスポーツの普及に努めた。令和2年度～4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響によりスポーツに取り組む機会の充実が困難であった。 【健やか育成課】 放課後子ども教室などを活用し、スポーツを通じて多世代が交流する機会づくりを推進した。 【保育振興課】 高齢者との交流の中で体を動かす取り組みを実施していたが、コロナ禍以降難しい状況である。 【幼児教育振興課】 運動会等で園児と高齢者が交流する機会を持つことができたが、令和2年度より新型コロナウイルス感染症により実施できていない。	①	3	3	【文化スポーツ課】 大学等との連携を強化し、スポーツに取り組む機会充実を図る。 【健康増進課】 感染症対策を講じながら、健康推進員活動等において地域住民がスポーツに取り組む機会の充実を図る。 【健やか育成課】 放課後子ども教室などを活用し、スポーツを通じて多世代が交流する機会づくりを推進する。 【保育振興課】 コロナの感染状況を踏まえながら、実施の方法等の検討を図る。 【幼児教育振興課】 多世代がふれあい、楽しみながら体を動かせる内容を検討し、機会を設ける。	
26	元気な高齢者の積極的な活用 新規	① 運動能力の高い元気な高齢者には、子どもたちのスポーツ推進活動のサポーターや指導者として活躍の機会を設ける。	文化スポーツ課	【文化スポーツ課】 スポーツ推進委員は、派遣型スポーツスクールの講師としてスポーツ協会においては、スポーツ教室の講師など行い、活動の機会を設けた。	【文化スポーツ課】 運動能力の高い指導者がいるスポーツ推進委員やスポーツ協会において、教室の実施など子どものスポーツ活動等の支援を行った。引き続き、活躍の場が提供できるよう、地域などとも連携を図り、機会の創出を行っていく。	①	3	3	【文化スポーツ課】 指導者としての活躍の場が提供できるよう、地域などとも連携を図り、機会の創出を行う。

具体的な施策	具体的な施策の内容	担当課	取り組み実績(R4年度実績) (具体的な取り組み内容)	H30～R4年度までの現状評価及び課題	進捗評価	総評	今後の取り組み課題など
--------	-----------	-----	--------------------------------	---------------------	------	----	-------------

【基本方針4】 スポーツで「障害者に活動の機会を！」

1. 障害者が身近にスポーツを楽しめる機会づくり							
27	障害者が身近にスポーツできる機会づくり	① 地域のふれあい活動推進協議会、体育振興会やスポーツクラブ21とともに、障害のある人とハイキングやゲームを楽しみ、交流を深めることができるイベントの普及、参加者拡大を支援する。	文化スポーツ課 障害福祉課	① 【文化スポーツ課】 障害者水泳教室を実施し、広くスポーツ(水泳)の機会提供と、意欲の醸成を図った。 【障害福祉課】 例年は障害者週間啓発イベントを通じて障害者スポーツの周知啓発に取り組んでいたが、令和4年度はコロナウイルスの影響で福祉事業所に関する展示のみとなり、スポーツに関する周知啓発を行えなかった。	① 【文化スポーツ課】 障害者スポーツスクール(水泳教室)を実施するなど、障害者が身近にスポーツが行える機会を図った。引き続き、参加者の拡大や教室等を通じて交流が図られるよう努め、共生社会の推進を図るため多様な取組の可能性を検討していく。 【障害福祉課】 H30～31は障害者週間啓発イベントを通じて障害者スポーツの周知啓発に取り組んでいたが、R2～4はコロナウイルスの影響でスポーツに関する周知啓発を行えなかった。	① 3	3
		② 「障害者スポーツスクール」や「派遣型スポーツスクール」など、障害のある人を対象とした各種スポーツ、レクリエーション教室を開催する。	文化スポーツ課	② 【文化スポーツ課】 ① 同上	② 3		
	障害者が身近にスポーツできる機会づくり	③ 「障害者スポーツ大会」の開催などを通じて、日頃取り組んでいる練習の成果を発揮し、さらなる技量の向上と活動意欲の増進を目指す。	文化スポーツ課 障害福祉課	③ 【文化スポーツ課】 新型コロナウイルス感染症の影響等で、一体的なイベント等の開催ができなかった。これまでは、子どもから高齢者、障害のある方すべての方が、さんだファミリー・スポーツ・カーニバル&市民チャレンジデーの参加を通じて、意欲の向上を図った。 【障害福祉課】 障害者のじぎくスポーツ大会(県)の参加者を募集し、出場に対する支援を行った。R4年度は観客無しの条件付きだったが、すべての競技が実施された。	③ 【文化スポーツ課】 R2・R3・R4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響等で、一体的なイベント等の開催ができなかったが、障害者を交えた交流は以前より行えた。今後は、障害者スポーツ協会発足会の立ち上げを機に関係団体との連携を図り、活動意欲の増進が行えるよう検討する。 【障害福祉課】 新型コロナウイルス感染症によりスポーツ大会が中止となるが多かったが、R2年度から感染対策を徹底した上で大会が開催されることが増えてきた。R4年度は観客無しの条件付きだったが、すべての競技が実施された。	③ 3	
28	障害者が参加しやすいスポーツの普及	① 障害者団体との情報交換や交流を深めながら、盲人卓球やニュースポーツなど、多様な障害に対応したスポーツの普及・啓発を進める。	文化スポーツ課 障害福祉課	【文化スポーツ課】 新型コロナウイルス感染症の影響により、障害者団体等との交流ができなかったが、イベントでの障害者スポーツ体験など普及啓発は行えた。 【障害福祉課】 例年は障害者週間啓発イベントを通じて障害者スポーツの周知啓発に取り組んでいたが、令和4年度はコロナウイルスの影響で福祉事業所に関する展示のみとなり、スポーツに関する周知啓発を行えなかった。	【文化スポーツ課】 新型コロナウイルス感染症の影響により、障害者スポーツの普及をはじめ、関係団体との交流もあまり行えなかったが、感染症に注意を払いながら多様なスポーツの普及啓発の推進を行っていく。 【障害福祉課】 H30～31は障害者週間啓発イベントを通じて障害者スポーツの周知啓発に取り組んでいたが、R2～4はコロナウイルスの影響でスポーツに関する周知啓発を行えなかった。	① 2	2
29	障害者の外出支援・社会参加の促進	① 公共施設の使用料の減免等をより積極的に周知することにより、障害のある人の外出機会を増やす支援を行うとともに、社会参加の促進を図る。	障害福祉課 公園みどり課	【障害福祉課】 窓口で減免制度の周知を行った。 【公園みどり課】 電話での問い合わせや窓口において、減免制度の案内を適切に行った。	【障害福祉課】 障害者手帳案内時に減免制度の周知を行った。 【公園みどり課】 今後も継続して指定管理者とも連携を図り、施設利用の促進を図っていく。	① 3	3

2. 障害者のスポーツ活動の支援							
30	<div style="background-color: #0070C0; color: white; padding: 2px; text-align: center; width: fit-content;">新規</div> 障害者のスポーツ環境づくり	① 既存施設などを活用して、障害のある人が気軽に利用したり、スポーツスクールや大会等を開催できるスポーツの環境拠点づくりを進める。	文化スポーツ課 障害福祉課	① 【文化スポーツ課】 障害者水泳教室を実施し、広くスポーツ(水泳)の機会提供に努めた。また、マスターズマラソンでは、ファンランの部として、車いすでも参加できる部門を設けた。 【障害福祉課】 取り組みは行っていない。	① 【文化スポーツ課】 障害者水泳教室を中心に気軽にスポーツができる拠点づくりを進めた。今後は、各種団体とも連携を図り、更なる環境づくり等を進めていく。 【障害福祉課】 取り組みは行っていない。	① 3	3
		② 障害のある人の相互間とボランティア、地域の住民などとの交流機会の充実を図る。	障害福祉課	② 【障害福祉課】 必要に応じて社会福祉協議会と連携し、ボランティアによる障害のある人への参加支援等を行った。	② 3		
		③ 国、県の大会等への参加促進や、優秀な成績を収めた選手、団体への奨励を行う。	文化スポーツ課 障害福祉課	③ 【文化スポーツ課】 障害者はもとより健常者も含め、全国大会などに出場や優秀な成績を修めた場合には、激励会や報告会など実施し、意欲のさらなる向上に努めた。 【障害福祉課】 該当なし。	③ 【文化スポーツ課】 ①同上 【障害福祉課】 該当なし。	③ 3	

具体的な施策	具体的な施策の内容	担当課	取り組み実績(R4年度実績) (具体的な取り組み内容)	H30～R4年度までの現状評価及び課題	進捗評価	総評	今後の取り組み課題など	
31 指導者の育成	① 兵庫県障害者スポーツ指導者養成講習会への参加などを通じ、障害の程度やスポーツ経験等に応じた適切な指導ができる人材の養成や派遣ができる仕組みを検討する。	文化スポーツ課	【文化スポーツ課】 兵庫県障害者スポーツ協会によるスポーツ推進委員向けの障害者スポーツの研修会を実施し、障害者スポーツへの理解を深めた。	【文化スポーツ課】 新型コロナウイルス感染症の影響などもあり、講習会への参加など行えなかったが今後は、講習会などの参加をはじめ関係団体とも連携を図るなかで指導者の養成など手法の検討など行っていく。	①	2	2	【文化スポーツ課】 講習会などに参加を行い、それらを活かせるような仕組みづくりなどの検討を行う。

3. スポーツを通じたノーマライゼーションの推進 強化

32	障害に関係なく共に参加・交流できるスポーツの普及	① ウォーキングやニュースポーツなど、多様な市民が共に参加できるスポーツの普及や、地域の運動会への障害のある人の参加促進など、スポーツにおけるノーマライゼーションの実現に向けた取り組みを進める。	文化スポーツ課 障害福祉課 健康増進課	① 【文化スポーツ課】 新型コロナウイルス感染症の影響により、障害者団体等との交流ができなかったが、イベントでの障害者スポーツ体験など普及啓発は行えた。 【障害福祉課】 障害のある人が参加を希望した際、障害者生活支援センター等が必要な支援を行い、参加に繋げている。 【健康増進課】 健康推進員の活動として地域のニーズに応じてウォーキングやニュースポーツを取り入れた。	① 【文化スポーツ課】 新型コロナウイルス感染症の影響で、イベント等が中止となったが、子どもから高齢者、障害のある方が「さんだファミリー・スポーツ・カーニバル&市民チャレンジデー」(R2・3年度は、中止)通じて、障害者スポーツの体験など普及啓発を図った。 【障害福祉課】 障害のある人が参加を希望した際、障害者生活支援センター等が必要な支援を行い、参加に繋げている。	①	3	3	① 【文化スポーツ課】 イベント等の機会を通じて、障害者スポーツの普及啓発や関係団体とも連携を図り参加交流できる機会を図る。 【障害福祉課】 障害のある人が参加を希望した際、障害者生活支援センター等が必要な支援を行い、参加に繋げる。 【健康増進課】 感染症対策を講じながら、ウォーキング等の誰もが参加できるスポーツの普及に努める。
	② 障害のある人のスポーツイベントへの市民参加を促進し、地域との交流がもてる機会を提供する。	文化スポーツ課 障害福祉課	② 【文化スポーツ課】 新型コロナウイルス感染症の影響により、障害者団体等との交流ができなかったが、イベントでの障害者スポーツ体験など普及啓発は行えた。三田国際マスターズマラソンにおいては、豚汁の振る舞いなど協力を受けた。 【障害福祉課】 障害のある人が参加を希望した際、障害者生活支援センター等が必要な支援を行い、参加に繋げている。	② 【健康増進課】 健康推進員活動におけるウォーキング教室や、健康教育にて多様な市民が参加できるスポーツの普及に努めた。新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントや事業が中止となることが多かった。 ② 【文化スポーツ課】 ①同上 【障害福祉課】 障害のある人が参加を希望した際、障害者生活支援センター等が必要な支援を行い、参加に繋げている。	②	3			
	③ 障害のある人の相互間とボランティア、地域の住民などとの交流機会の充実を図る。(再掲、No.30-②)	障害福祉課	③ 【障害福祉課】 必要に応じて社会福祉協議会と連携し、ボランティアによる障害のある人への参加支援等を行った。	③ 【障害福祉課】 必要に応じて社会福祉協議会と連携し、ボランティアによる障害のある人への参加支援等を行った。	③	3			
33	スポーツ施設のバリアフリー化の促進 新規	① スポーツ施設や駐車場等のバリアフリー化(段差の解消、手すりの設置、サイン標識の設置等)やウォーキングコース等のサイン設置等を進め、障害のある人にも利用しやすいスポーツ環境づくりを進める。	障害福祉課 公園みどり課	【障害福祉課】 福祉のまちづくり条例に基づき、ホームページに市内公共施設のバリアフリー情報の提供を行っている。 【公園みどり課】 平谷川緑地内ウォーキングコースのサイン標識の設置、各種園路や通路の段差解消などを行った。	【障害福祉課】 福祉のまちづくり条例に基づき、ホームページに市内公共施設のバリアフリー情報の提供を行っている。 【公園みどり課】 施設の新設ならびに改修時は都市公園の移動円滑化整備ガイドラインに基づき整備を進めている。	①	3	3	【障害福祉課】 福祉のまちづくり条例に基づき、ホームページに市内公共施設のバリアフリー情報の提供を行い、周知啓発を図る。 【公園みどり課】 施設の新設ならびに改修時は都市公園の移動円滑化整備ガイドラインに基づき整備を進め、施設の改善を図っていく。
34	障害者のスポーツ実施を支えるボランティアの育成 新規	① 障害のある人のスポーツ実施を支えるボランティアの育成・活用を目指す。	文化スポーツ課 障害福祉課	【文化スポーツ課】 新型コロナウイルス感染症の影響により、育成や活用等の検討が行えなかった。 【障害福祉課】 必要に応じて社会福祉協議会と連携し、ボランティアによる障害のある人への参加支援等を行った。	【文化スポーツ課】 新型コロナウイルス感染症の影響により、関係団体との連携や障害者スポーツの普及推進が図られなかった。 【障害福祉課】 必要に応じて社会福祉協議会と連携し、ボランティアによる障害のある人への参加支援等を行った。	①	2	2	【文化スポーツ課】 第3次スポーツ推進基本計画に基づき、障害者スポーツの普及推進や関係団体の連携方策等の検討を行う。 【障害福祉課】 必要に応じて社会福祉協議会と連携し、ボランティアによる障害のある人への参加支援等を行う。

具体的な施策	具体的な施策の内容	担当課	取り組み実績(R4年度実績) (具体的な取り組み内容)	H30～R4年度までの現状評価及び課題	進捗評価	総評	今後の取り組み課題など
--------	-----------	-----	--------------------------------	---------------------	------	----	-------------

【基本方針5】 スポーツで「地域コミュニティの活性化を！」

1. 市民主導型の地域スポーツの活性化								
35	スポーツクラブ21の活動支援	① 個々のクラブの実態に応じた活動を支援するとともに、活動規模の見直しや、幅広い年齢層の加入促進を図る。また、広報活動を充実し、地域の理解・参画を広める。	文化スポーツ課	【文化スポーツ課】 ① 各クラブごとに、加入促進など啓発に努めている。 ② スポーツクラブ21さんだ連絡協議会として、各クラブの連絡先や競技種目の開催曜日などを掲載したものを作成し、必要に応じて加入促進の材料としている。 ③ 地域はもとより、学校とも連携を図り地域に根づいた取り組みを行うことにより、若年層への参加を啓発している。 ④ クラブの会議だけではなく、文化活動の場所としても活用が図られている。	【文化スポーツ課】 ①②③④ 各クラブにおいて、会員の増強など地域団体とも連携しながら活動を行っているが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、思うように活動できない時期もあった。今後は、さらに交流や関係団体等との連携が図られるよう、クラブ間の連携はもとより地域、他団体との連携を推進していく。また、兵庫県推奨するクラブマネージャーの養成やスポーツ指導員の育成など、スポーツクラブの認定化への情報提供など行う。	① 3 ② 3 ③ 2 ④ 3	2.8 【文化スポーツ課】 ①②③④ 今後の地域スポーツの課題などを含め、連絡協議会などで意見交換を行い、地域間交流や関係団体等との連携が図られるよう推進し、スポーツクラブの推進に向けた検討を行う。	
		② 広報紙やホームページなどの充実、発信内容や方法を見直すことで、地域に活動内容のPRを行うとともに、組織の活性化や交流・情報交換による連携強化を図る。	文化スポーツ課					
		③ 市民ニーズや必要性に応じて、地域の関連団体との連携を強化して取り組みの輪を広げるとともに、参加者の若返りを目指す。	文化スポーツ課					
		④ クラブハウスを地域の健康・交流の拠点として位置づけ、積極的な活用を進めていく。	文化スポーツ課					
36	スポーツ団体の活動支援・連携強化	① 体育振興会による地区運動会や地区スポーツ大会の開催などの活動を支援するとともに、組織間の役割分担や再編など、地域のスポーツ活動を担う団体の連携・体制づくりを見直す。	文化スポーツ課	① 【文化スポーツ課】 体育振興会をはじめスポーツクラブ21との連携を図り各種スポーツ大会などを実施し、地域スポーツの推進を図っている。 ② 【文化スポーツ課】 スポーツ関係団体や学校、地域との連携、支援体制は、各地域ごとで図られている。 【健康増進課】 新型コロナウイルス感染症の影響により、スポーツ関係団体、事業者との連携は困難な状況であった。 ③ 【文化スポーツ課】 市内スポーツクラブ21の1クラブにおいて、NPO法人化へ移行した。その他は、現状の活動等で限界となっている状況。 【協働推進課】 NPO法人化への支援は、市民活動推進プラザ（協働推進課委託事業）で行っている。スポーツに係るNPO法人化の支援申請はなし。	① 【文化スポーツ課】 新型コロナウイルス感染症の影響もあり、各団体が連携した取組が難しい状況であった。引き続き、団体間連携に留まらず、多様な組織団体とも連携を図り、さらには支援強化ができるような仕組みづくりを検討する。 ② 【文化スポーツ課】 ①同上 【健康増進課】 新型コロナウイルス感染症の影響により、スポーツ関係団体、事業者との連携は困難な状況であった。 ③ 【文化スポーツ課】 ①②同上 【協働推進課】 新型コロナウイルス感染症の影響もあり、スポーツに係るNPO法人化の支援申請はなかった。	① 2 ② 2 ③ 2	2 ① 【文化スポーツ課】 多様な組織団体とも連携を図り、支援強化ができるような仕組みづくりを検討する。 【文化スポーツ課】 ②同上 【健康増進課】 新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、スポーツ関係団体、事業者との連携を図る仕組み作りを検討していく。 ③ 【文化スポーツ課】 ①②同上 【協働推進課】 市民活動推進プラザにおいて、市民活動団体のNPO法人化支援を行っており、今後も団体の自立化に向けた仕組みづくり等を進めていく。	
		② 市民の健康・体力づくりや次世代の競技者育成などにつながるよう、スポーツ関係団体や学校、地域、民間のスポーツクラブ、事業者との連携、支援制度の再構築を進める。	文化スポーツ課 健康増進課					
		③ スポーツに関する活動を中心としたNPOの組織化を視野に入れた、意識統一の醸成と自立化に向けた仕組みづくりを進める。	文化スポーツ課 協働推進課					
37	地域スポーツ活動の支援 強化	① 幼稚園、保育園の地域開放の活動や小学校のクラブ活動、中学校の部活動を支援し、子どもや保護者だけでなく、障害のある人や高齢者も含めた多様な世代が参加・交流できる、スポーツイベントや行事も支援する。	文化スポーツ課 学校教育課 保育振興課 幼児教育振興課 障害福祉課 健やか育成課	【文化スポーツ課】 各地域ごとに多様な活動支援や場の提供を行っている。 【学校教育課】 ・部活動運営に対する支援を行った。 ・専門的技術のある部活動指導員を10名配置し、部活動指導体制の充実、部活動指導の質的向上、部活動を担当する教員の負担軽減を図った。 【保育振興課】 認定こども園、保育園の園庭開放や各種催しを通じて地域子育て支援活動を行った。 【幼児教育振興課】 地域子育て支援事業として芝生園庭の開放日を設け、遊びの場を提供。（実施回数/54回、参加人数/延べ839名） 【障害福祉課】 取り組みは行っていない。 【健やか育成課】 こうみん未来塾事業のゴルフ体験や走り方教室プログラムなどを活用し、子ども・保護者・地域の支援者など多世代が参加・交流できるイベントを開催した。（「フットサル教室」1回開催・「走り方教室」1回開催・「体操教室」1回開催 等）	【文化スポーツ課】 学校、地域、スポーツクラブ等が相互に連携を図り、支援体制を図っている。引き続き、支援体制を維持しつつ今後の地域スポーツの課題解決に向け、検討など行っていく。 【学校教育課】 部活動運営に対する支援を行うとともに、部活動指導員を配置することで、指導体制の更なる充実を図った。引き続き、支援を継続し、持続可能な部活動の在り方について検討を行う。 【保育振興課】 感染予防策をとりながら、園庭開放などの地域子育てステーション事業が実施出来た。 【幼児教育振興課】 新型コロナウイルスの感染防止を徹底しながら、園庭開放を行い、地域の未就園児や保護者の集いの場を提供することができた。 【障害福祉課】 取り組みは行っていない。 【健やか育成課】 市内の企業や専門家と協働し、多様なこうみん未来塾プログラムを提供する。	① 3	3 【文化スポーツ課】 学校、地域、スポーツクラブ等が相互に連携を図り、支援体制を継続していく。 【学校教育課】 ・部活動運営に対して支援を継続する。 ・部活動指導員を12名配置し、各校の実情に応じた指導体制の充実を図る。 【保育振興課】 継続して実施する。 【幼児教育振興課】 継続して実施する。 【障害福祉課】 取り組みを行う予定はない。 【健やか育成課】 市内の企業や専門家と協働し、多様なこうみん未来塾プログラムを提供していく。	

具体的な施策	具体的な施策の内容	担当課	取り組み実績(R4年度実績) (具体的な取り組み内容)	H30～R4年度までの現状評価及び課題	進捗評価	総評	今後の取り組み課題など	
2. 誰もが身近にスポーツに親しめる機会づくり								
38	若い世代（子育て・働き盛り世代）のスポーツ推進 強化	① 働き盛りの世代への運動習慣の啓発として、大学や職場（事業所等）との連携により、広報やイベント、健康増進プログラムなどを活用した情報の提供・啓発を行う。	文化スポーツ課 健康増進課	① 【文化スポーツ課】 新型コロナウイルス感染症の影響によりイベント等における提供、啓発の場がなかった。 【健康増進課】 働き盛り世代の健康づくりや食に関する知識の習得、健康管理の意識の向上のため、企業に対し健康教育を実施している。令和4年度実施回数：2企業、対面研修6回	① 【文化スポーツ課】 新型コロナウイルス感染症の影響もあり、イベント等での啓発が行えなかった。今後は、機会があるごとに運動習慣の啓発など行っていく。 【健康増進課】 平成31年度より、働き盛り世代向け出張セミナーを開始し、運動習慣の啓発に努めた。感染症対策目的で、オンライン研修も可能としており、令和3年度に1回実施している。	①	2	1.8
		② 自転車通勤の推奨やスポーツ活動の推進、グラウンド等の地域開放など、スポーツの促進に積極的に取り組んでいる企業（事業所等）の顕彰制度について検討する。	文化スポーツ課	② 【文化スポーツ課】 取り組みなし	② 【文化スポーツ課】 これまでの間、検討等行えなかった。	②	1	
		③ 子育て世代や働き盛りの世代が、スポーツをする時間を確保できるよう、兵庫県の「ワーク・ライフ・バランス※」の紹介などに取り組む。	文化スポーツ課 健康増進課	③ 【文化スポーツ課】 取り組みなし 【健康増進課】 取り組みなし	③ 【文化スポーツ課】 ②同上	③	1	
		④ 地域の学校体育館などの身近な場所で、気軽に運動を体験する機会の増加を図るとともに、スポーツを通じた仲間づくりができるよう取り組む。	文化スポーツ課	④ 【文化スポーツ課】 小学校のグラウンド、体育館や中学校の体育館、武道場の解放を行い、地域のコミュニティ活動の機会づくりを提供。	④ 【文化スポーツ課】 学校開放事業として小中学校の体育館などを開放し、身近にスポーツができる環境を整えた。引き続き、開放を行うとともに地域スポーツの課題解決にあわせたより良い利用の検討を行っていく。	④	3	
39	身近にスポーツができる機会の創出	① スポーツをしていない人やスポーツが苦手な人も参加しやすいメニューや開催時間等を検討し、「市民スポーツ教室」など、身近にスポーツを楽しめるきっかけづくりを行う。	文化スポーツ課 健康増進課	① 【文化スポーツ課】 スポーツ協会を中心に9種目の市民スポーツ教室を行った。 【健康増進課】 取り組みなし	① 【文化スポーツ課】 市民スポーツ教室の実施など、身近にスポーツが行えるきっかけづくりを行った。引き続き、教室などを実施し、多くの種目教室が開催できるよう協会に対し周知協力を図っていく。 【健康増進課】 取り組みなし	①	3	3
		② ウォーキングコースやジョギングコースのPRなど、市民が体を動かすきっかけづくりを行う。	文化スポーツ課 健康増進課	② 【文化スポーツ課】 ・市内10カ所（武庫川、有馬富士、千丈寺湖、母子・永沢、高平、大川瀬・つつじが丘、本庄、フラワータウン、ウッディタウン、カルチャータウン）にウォーキングコースを整備しており、スタンプラリーが実施できるコース紹介マップを発行。令和4年度は、一部のコースの路面距離表示の修繕を行った。（本庄・ウッディタウン・千丈寺湖）また、ノルディックウォーキング用ポール常備し、希望者に貸し出しを実施。その他、ウォーキングマップの改訂増刷を実施。 【健康増進課】 健康推進員活動において、感染症対策を講じながらウォーキングを行った。	② 【文化スポーツ課】 ノルディック・ウォーキングのイベントなど実施し、運動する機会づくりを行った。普及推進を促進し、普段から体を動かす意識の醸成を図っていく。 【健康増進課】 市のウォーキングコース等を参考にしながら健康推進員活動でウォーキングを行った。 （令和2年度～4年度については新型コロナウイルス感染症の影響により回数は減少）	②	3	
40	スポーツ推進委員等による地域スポーツ活動の拡充	① スポーツクラブ21の育成・強化に積極的に取り組むとともに、「派遣型スポーツスクール」の活性化や、「さんだ市民チャレンジデー」など、多くの市民が参加できる催しなどの企画・運営を進め、より多くの市民がスポーツに触れる機会の拡充を図る。	文化スポーツ課	【文化スポーツ課】 ① 派遣型スポーツスクールの活性化により、推進委員の活動が地域に広まり、地域の団体に幅広くニュースポーツの普及など活性化が図られた。 （R4年度343人）※新型コロナウイルス感染症の影響により活動団体が減少。	【文化スポーツ課】 ① 派遣型スポーツスクールなどにより、地域の団体に幅広くニュースポーツの普及など活性化を図った。新型コロナウイルス感染症の影響により活動団体が減少しているが、引き続き普及啓発を行い、スポーツに触れる機会、親しむ機会の充実を図っていく。	①	3	2
		② 地域に密着したスポーツ指導者やコーディネーターとしての役割を担えるよう、指導者の育成などの充実を検討する。	文化スポーツ課	② 各協会や個別での指導者育成は行っているものの、市が主体となった育成などは行っていない。	② 市が主体となり育成の機会など実施できなかった。	②	1	

具体的な施策	具体的な施策の内容	担当課	取り組み実績(R4年度実績) (具体的な取り組み内容)	H30～R4年度までの現状評価及び課題	進捗評価	総評	今後の取り組み課題など	
3. 誰もが身近にスポーツに親しめる機会づくり								
41	既存施設等の有効活用	① 市内の公共施設について、スポーツの観点から施設を総合的に捉え、各施設の特色を活かしながら、市民が利用しやすい体制を整備する。	文化スポーツ課 公園みどり課	① 【文化スポーツ課】 有料スポーツ施設の優先利用調整会を実施し、スポーツ大会の実施が行いやすい制度を提供した。 【公園みどり課】 指定管理者が市民スポーツ教室や利用者のニーズに応じたスポーツ教室を実施した。新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、施設内の巡回・確認、施設や備品の消毒等を定期的に行い、安全な利用を確保した。	① 【文化スポーツ課】 大会実施が行いやすい利用調整が行えた。引き続き、利便性向上へのよりよい利用調整を図っていく。 【公園みどり課】 市民のニーズに合ったスポーツ教室が開催されたが、コロナ禍で中止となったものがある。	①	3	2.3
		② 学校施設（グラウンド、体育館、クラブハウス、余裕教室など）についても、スポーツクラブ21の使用だけでなく、学校PTA活動や「放課後子ども教室※」事業のほか、地域住民のスポーツ教室やイベント等の利用についても検討する。	文化スポーツ課 教育総務課	② 【文化スポーツ課】 地域行事等の際にも積極的に活用されている。 【教育総務課】 ・地域内における世代間交流及び学校と地域の良好な関係づくりのため、地域活動を行う場合など、学校施設目的外使用条例に基づき、学校施設が使用された。 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、使用団体に対して、マスク着用や手洗い及び手指消毒・使用場所の消毒・使用者の体調把握等の遵守事項の実施を条件に使用許可を行った。	② 【文化スポーツ課】 スポーツクラブ21だけでなく地域行事等にも活用された。今後も、地域の各団体が連携を図り有意義な活用を図っていく。 【教育総務課】 学校施設を活用して地域活動を行う場合などは、学校施設の使用（学校施設目的外使用時における新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に係る遵守事項を含む）等の周知及び普及に努める。	②	3	
		③ 企業のグラウンド等の民間スポーツ施設についても、地域のスポーツイベント等への利用など、支援・協力体制の充実を図る。	文化スポーツ課	③ 【文化スポーツ課】 取り組みなし	③ 【文化スポーツ課】 民間施設等への支援については、協力を求めることが出来なかった。	③	1	
42	スポーツ施設の効率的な運営	文化スポーツ課 公園みどり課	【文化スポーツ課】 ・優先利用調整により、より有効的効果的に施設利用の向上を図った。また、優先利用を活用したイベント等に取り組んだ。 【公園みどり課】 指定管理者がマシジム運営、フィットネススタジオでの各種プログラム、小学生向けスポーツスクール等を駒ヶ谷運動公園、城山公園で実施した。	【文化スポーツ課】 指定管理者とも連携しながら、優先利用調整を行い、よりよい施設利用が図られた。今後も継続して、指定管理者とも連携を図り、施設利用の促進を図っていく。また、優先利用を活用してイベントを実施し、指定管理者事業とも相互支援体制を図り、充実した施設利用を促進していく。 【公園みどり課】 指定管理者とも連携しながら、市民ニーズに対応したスポーツイベント、教室等の開催に取り組んできたが、コロナ禍により中止せざるを得ないイベントがあった。今後も継続して、指定管理者とも連携を図り、施設利用の促進を図っていく。	①	3	3	